

「わくわく、

# ドキドキの笑顔を繋いで」

「おもちゃのにしな」として

有限会社仁科は昭和34年に創立し、今年で57年になります。当時、私の父が花巻市内で小さなおもちゃ屋を営んでいましたが、上町の花巻デパート開業と同時に「おもちゃのにしな」として入居したのが始まりです。

その後、盛岡駅地下の盛岡ステーションデパート（旧パルモ）に出店、さらには東北新幹線開業を控え盛岡駅ビルとして開業した「フェザン」内に店舗を拡張し移転しました。また前後して、テナント店舗ではどうしても手狭となり充実した品揃えが実現できないことから、昭和51年、みtakeの岩手県営運動公園に面した現在地に新たに店を構えました。その間、花巻の店舗は閉鎖し、盛岡市内には大通や津志田にも店を構えましたが、その後大通店は閉鎖、津志田店は従業員にのれん分けの形で譲渡し、現在はみtakeの店舗のみでの営業しております。

創業者の父は昭和46年、私が中学2年の時に他界し、その後店舗は母と現在社長をしている兄の2人で運営していました。私は次男でしたので特に店を継ぐ必要もなく、学校を出てからは箱根のホテルで調理師の仕事をしていたが、フェザンへの移転を機に母の強い要望もあり、3年ほど卸問屋で修業をしたのち盛岡に戻りフェザン店に勤務しました。その後、兄はアクセサリーやファンシーショップなどの店舗運営を手掛け、おもちゃの販売は主に私が担うこととなりました。

「ホビーショップにしな」への業態転換

幅広い品揃えを実現するため、みtakeの現在地に移転したのですが、平成10年、当店から200坪ほど先に「トイザラス」がオープンすることになりました。

当時、私どもの店舗は全国組織のボランティア



有限会社仁科  
(盛岡市)  
常務取締役

仁科 光正

チェーンに加盟していましたが、どのように対抗していくか組織内で研究し、当時の日米構造協議で話題となった新潟店へ視察に行ったのですが、ほとんどの商品が当店と競合しており、「とてもではないが、このままでは太刀打ちできない」ということがわかりました。

その後、ボランティアチェーン組織としては、個々の加盟店がそれぞれ、自店の特色や外部環境等を考慮し独自の対策を取ることとなり、テレビゲームに特化した加盟店などもありました。

私は、今後少子化による人口減少が予想されることや、私自身が小さい時からプラモデルやラジコンなどに接するなど（調理もそうなのですが）、「作り上げる」ことが好きでしたので、いろいろ考えた末に、これまでの「子供を対象としたおもちゃ屋」から「子供から大人までが楽しめるマニア向けのホビーショップ」へ業態

転換を図ることとしました。

業態転換を図ることで、これまでのメーカーが大々的に広告宣伝を打ち、卸問屋から大量に商品を入荷し、店頭で一気に販売する方法から、品揃えをマニア向けに絞りながらマニア一人一人の趣味に合った数多くのアイテムを常に用意し提供する方法に変わっていきました。その結果、当初は来店客も売上も減少しましたが、クリスマス月の12月とお正月の1月、そして夏休みの7〜8月に集中していた販売時期が平準化したほか、お客様も口コミで広がり馴染みのマニアが増えリピート率が向上し定着してきました。

### 「モノ」から「コト」へ

そして、それ以上が変わったのが、「モノ」を販売するだけで終わるのではなく、販売した後の「コト」を提供することで、お客様との絆、お客様同士の絆、そして地域での絆が生まれたことです。

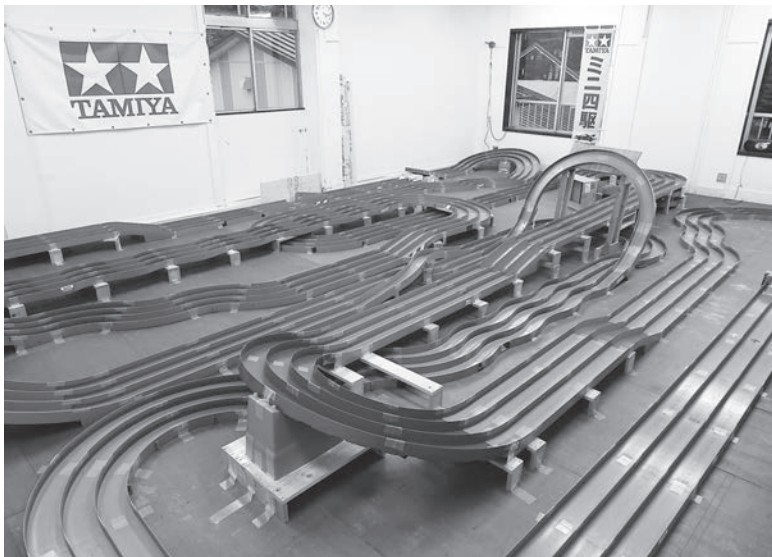
たとえば、エアガンを購入したお客様が集まったサバイバルゲームのクラブ会員は現在では60名ほどになっています。ゲームは河川敷で行いますが、使用する弾はトウモロコシを原材料に使用し、当たるとちょっと痛いのですがケガはなく、環境にも配慮しながら皆で楽しんでいます。また、カードゲーム大会・ベイブレード大会・紙飛行機大会も開催しています。

そのほか、プラモデル作りや、飛行機・車の

ラジコンのクラブがあります。ミニ四駆のクラブでは親子で参加し、昔作ったお父さんが子供さんに作り方を教えたり、高校生が小学生に教えたりと、「作り上げる」よろこびを世代間で繋いでいます。

店の隣のビルの3階には全長300メートルほどのミニ四駆のコースがあり、自分で車を改造し軽量化を図り速度を上げる工夫をするなど、月に一度の大会で会員同士が腕を競います。

このようなクラブや大会はお客様からの要望から生まれたものばかりで、従業員も懸命になって企画し運営を盛り上げ、一緒に楽しむこ



約300メートルあるミニ四駆のコース

とで自身の成長に繋げています。

### 地域社会への貢献

業態転換を図ったことで、地域の皆様が楽しむ笑顔に接する喜びを私自身が肌で感じ、7年前に次のような経営理念を作りました。

・私たちは、心が躍る遊びのミュージアムをめざします。

・私たちは、人間形成の場として地域から信頼され、心の通う社会づくりに貢献します。

・私たちは、遊び心を持って共に学び、幸福な人生をおくり（贈り）ます。

と同時に、世界に誇れる大きなことにチャレンジして、お客様にもっと楽しんでもらおうと、世界一長い523メートルのミニ四駆のコースをイオンモール盛岡に作りギネスの当時の世界記録にも認定されました。

そして現在、更なる地域貢献を図るため取り組んでいるのが、ラジコンから発展し、ラジコン技術を応用することで今後の用途拡大が見込まれているドローンの活用です。飛行操作指導や国への届出指導からはじまり、農薬散布や災害対策、マイク付での害鳥駆除など、新しい事業として様々な取り組みを始めています。

ドローンの活用に限らず、環境問題をはじめとした様々な地域の課題解決に向けた事業展開を図るべく、地域の皆様方との絆を深め学んで行きたいと思えます。今後ともよろしくお願ひします。